

ニューズレター No.94

2017(平成)29年3月11日発行

日本リメディアル教育学会, ニューズレターNo.94 をお届けいたします。今回は,

○第9回九州・沖縄支部会支部大会開催報告
についてお知らせいたします。

第9回九州・沖縄支部会支部大会開催報告

日本リメディアル教育学会(JADE)九州・沖縄支部会(福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄)の第9回支部大会(2016年度)を, 下記のとおり開催いたしました。参加者・研究発表者は, 支部会会員以外に, 関東, 関西, 中国・四国の会員, 一般の方もおられ, 計41名の出席者がありました。

- 日時: 2017年3月4日(土)13時30分~17時40分
- 会場: 久留米工業大学 向野キャンパス 100号館(テクノみらい館)4階および2階
〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66
- 主催: 日本リメディアル教育学会九州・沖縄支部会
久留米工業大学
実行委員長: 巽 靖昭(久留米工業大学)
支援:(公財)久留米観光コンベンション国際交流協会
出展企業: ラインズ(株)
- プログラム
13:00~13:30 受付
13:30~13:40 開会行事 142講義室
13:50~15:25 研究発表① 141講義室と143講義室
15:25~15:40 休憩
15:40~17:15 研究発表② 141講義室と143講義室
17:20~17:30 出展企業によるデモ 142講義室
17:30~17:40 九州・沖縄支部総会 142講義室
18:00~19:30 情報交換会 2階ラーニングcommons

- 研究発表(1件20分[発表15分+質疑5分])

◇141 講義室

13:50~14:10

国際チューター育成プログラム(ITTPC)を基礎としたチューター育成とその意識調査について

津嘉山淳子(名桜大学)

14:15~14:35

ICT活用教育共同利用拠点における講習会・研修会等の役割
角和博, 中村隆敏, 福崎優子, 穂屋下茂(佐賀大学)

14:40~15:00

学部生チューターによるライティングセンター運営の可能性—
桜大学ライティングセンター開室の経験から—

真喜屋美樹(名桜大学)

15:05~15:25

ICT活用教育共同利用拠点の構築と役割~アンケートからみた
拠点への期待~

穂屋下茂, 田代雅美(佐賀大学)

◇143 講義室

13:50~14:10

同期型遠隔授業システムの運用と改善

米満潔, 福崎優子, 古賀崇朗, 穂屋下茂, 堀良彰(佐賀大学)

14:15~14:35

教員と学生の好むフィードバックタイプの検証

恒安眞佐(国際基督教大学)

14:40~15:00

アクティブ・ラーニングにおける演劇的手法の意義と役割

青柳達也(佐賀大学), 安永 悟(久留米大学), 角和博(佐賀大学)

15:05~15:25

大学キャリア教育における社会人招聘型プログラムが学生のキャリアビジョン醸成に与える効果について

金井秀介(立命館アジア太平洋大学)

15:25～15:40 休憩

◇141 講義室

15:40～16:00

eラーニングによる日本語リメディアル教育の試み

早瀬郁子, 穂屋下茂, 長家智子, 坂美奈子, 久家淳子(佐賀大学)

16:05～16:25

新聞記事を用いた要約意見文の生成—日本人大学生と外国人留学生の比較—

永岡悦子(流通経済大学)

16:30～16:50

オンラインを利用したライティング支援報告

石毛弓, 寺田未来, 西尾信大(大手前大学)

16:55～17:15

受講生の“変容”を促す高大接続教育—コミュニケーション入門 I の実践から—

佐藤裕哲(大分大学)

◇143 講義室

15:40～16:00

数理学習センターのチューター育成プログラムの開発

高安美智子(名桜大学)

16:05～16:25

講義形式授業とアクティブラーニング型授業の比較

村原英樹(上智福岡中学高等学校)

16:30～16:50

協同学習で育つ復習のスキルと動機付け

石山信幸(久留米市立南筑高等学校), 安永悟(久留米大学)

16:55～17:15

項目反応理論による物理学カテストの解釈

中嶋康博, 巨海玄道, 野田常雄, 江藤徹二郎, 中村文彦(久留米工業大学)

最後に, 本支部大会予稿集のリンクを支部会ホームページに後日設けます。その準備ができましたら改めて連絡致します。

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では, リメディアル教育に関する研究, 教材や教授法の開発と評価, 実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は, 非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は, 査読審査を経て, 編集委員会において決定します。原稿料の支払い, 掲載料の徴収はいたしません。

【文責】寺田 貢

【編集】大野 早苗